

今こそ新たなチャレンジの時！

攻撃型生産管理TPiCSとスケジューラAsprovaでの導入で生き残り策

円安の長期化などを受けて、日本企業（自動車、電機）の生産の国内回帰の動きが広がっています。このような現状の中で中堅、中小製造業では増産に対応すると同時に品質向上、原価低減を図り安定経営を行うことが求められています。

しかし、一旦縮小した生産現場を回復するためには改革、改善に取り組む生産管理人材を育成することが喫緊の課題と考えています。

本セミナーでは攻撃型生産管理TPiCSとスケジューラAsprovaの導入で培ってきた経験にもとに、生産管理人材の育成と生産管理システムの導入の成功事例を紹介します。

開催概要

- 開催日 2015年7月16日(木) 13:30～16:30 (13:15受付開始)
- 開催会場 金沢勤労者プラザ 302研修室
〒920-0022 金沢市北安江3-2-20
TEL:076-221-7771

※当館には駐車場有



プログラム

時間	内容	講演者
13:15～13:30	受付	
13:30～15:15	<p>■失敗から学ぶ、これからの工場運営と生産管理の進め方</p> <p>①このところの円安と海外リスクから大手製造業の国内回帰の動きが加速している。しかし、その受け皿となる工場運営・生産管理人材が大手・中小企業とも決定的に不足している。早期にそうした人材を育成・活用することが死活問題となっている。</p> <p>②つまり、製造業の次世代マネジメントの育成、それは、自ら観察し考え、判断し実践できる真のベテランを育てることである。</p> <p>③日本企業は今一度、現場での地道なモノづくりに立ち返って、現状の企業活動・プロセス全般の総点検、新たな仕組みづくり、人づくりを目指すべき時に来ている。</p> <p>■攻撃型生産管理(TPiCS=ティーピクス)の事例紹介</p> <p>攻撃型とは自社の生産プロセスを見直し、常に新たな仕組みづくりにチャレンジし続けること。これまで自動車部品、電機、金属・機械加工・食品・アパレル医療関連等の業界を含め約60社の導入支援を行い確実に立ち上げてきた。</p> <p>①自社の業務に耐えられる生産管理システムの選定とTPiCSの機能</p> <p>②自社のプロセスを熟知した人材の育成</p> <p>③短期で確実な運用につながる導入・運用支援</p>	株式会社システムユニ 代表取締役 岡田 敏明 (愛媛大学工学部講師)
15:30～16:15	<p>■国内導入実績No.1スケジューラAsprova APSのご紹介</p> <p>需要の増減に追従した負荷計画や着手順計画を狙ったサイクルで作成するにはとてつもない労力を要します。しかし、この計画業務の精度が売上や利益にも大きく影響します。生産スケジューラ「Asprova ASP」を活用することで計画業務の省力化、生産量アップ、在庫削減などの効果を挙げた事例を交え、製品紹介を行います。</p>	アスプローバ株式会社 課長 花井 友幸
16:15～16:30	■質疑応答	
16:30～	■個別相談(希望者のみ)	

TPiCS導入実績 1,796社 (2015.5)
Asprova市場シェア 58.4%

セミナーのお申し込みは、

アスプローバ(株)のホームページ

http://www.asprova.com/jp/seminar_jp/eventlist.html

(株)システムユニホームページ

<http://www.systemuni.com>

の本セミナーの「申込」ボタンからお申し込ください。下記、お問合せ先にて、お申し込み受付けております。

下記にて本セミナーの問い合わせ、お申し込みを受け付けております。

株式会社 システムユニ 久岡 (hisaoka@systemuni.com) TEL:06-6946-7001 FAX:06-6946-7005